

第2回 加美町総合計画審議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年7月30日(火) 午後2時から午後4時30分
- 2 開催場所 中新田公民館 第1、第2研修室
- 3 出席者 23名

○加美町総合計画審議会

学識経験者 (宮城大学事業構想学群 教授)	平岡 善浩	会長
同 (前町代表監査委員)	小山 元子	副会長
同 (町教育委員)	野村 清正	委員
同 (町農業委員)	杉村 昭宏	委員
同 (東北大学 名誉教授)	牧野 周	委員

公共的団体

同 (町社会福祉協議会)	早坂 家一	委員
同 (町区長会)	佐藤 宮男	委員
同 (町文化協会)	渡邊 哲	委員
同 (町婦人会)	本多 洋子	委員
同 (町交通安全母の会)	小林 貞子	委員

一般町民

同	佐々木嘉昭	委員
同	高橋 庸介	委員
同	小山 久美子	委員
同	松本 結依	委員
同	佐々木奈緒美	委員
同	大沼 宏伸	委員
同	今野 聖子	委員
同	近田 利樹	委員
同	澁谷 とも子	委員
同	伊藤 絵美	委員
同	伊藤 千紘	委員
同	早坂 龍終	委員
同	宮野 謙	委員

・欠席者 7名

公共的団体 (加美町よつば農業協同組合)	後藤 利雄	委員
同 (加美郡医師会)	鈴木 潤	委員
同 (町スポーツ協会)	早坂 こずえ	委員
同 (加美商工会)	松倉 裕樹	委員
一般住民	今野 英俊	委員
同	田中 草太	委員
同	岸田 紗季	委員

4 説明のため出席した者

○事務局

企画財政課	課長	内海	茂
	同	参事兼課長補佐	太田 裕二
	同	主幹兼企画政策係長	菅原 敏之
	同	主査	佐々木 佑介
	同	主事	中楯 有香

○委託業者

国際航業株式会社仙台支店	小山	久美
同	増戸	保明
同	元吉	裕樹

5 議 事

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 議事

1) 第1回審議会後の経緯【資料1】

→ 概要は以下のとおり

2) 町民アンケート結果について【資料2】

→ 概要は以下のとおり

3) 加美町の基本的な課題の整理（素案）について【資料3、資料4-1、4-2】

→ 概要は以下のとおり

6 その他

次回開催予定日 第3回は令和6年秋頃を予定

7 閉 会 午後4時30分

議事1 第1回総合審議会後の経緯について、資料1に基づき事務局から説明。

議事2 町民アンケートの結果について、資料2に基づき事務局より説明。

会長 ご説明ありがとうございます。只今事務局の方から資料1の第1回審議会後の経緯及び資料2の町民アンケートの結果についてご説明がございました。それでは委員の皆様からご意見、ご質問ございましたら挙手の上、ご発言をお願いいたします。はい、お願いします。

委員 2点お尋ねしたいです。委託業者ということで国際航業さんのご紹介がありましたが、その役割について教えてください。それから職員のワーキングが2回ほどあったようですが、そのメンバーの構成と、今後開かれる場合に傍聴できるどうか教えていただきたいと思います。

事務局 ご質問ありがとうございます。まず国際航業さんの支援につきましてご説明します。これまでの総合計画策定につきましては1期計画、2期計画にも国際航業さんが入っていきまして、進めていく中で全国のいろいろな計画策定の実績もあることから、今回の当初予算に計上して入札によって決めさせていただきました。専門的な知見から町の支援、あるいはこういった審議会や職員のワーキンググループ、組織の運営等の支援を主にやっていただきまして、我々と一緒に、総合計画策定に向けて一緒に取り組んでいくことをお願いしています。

また、ワーキンググループのメンバー構成につきましては、すいません今日資料を持っていないのですが、各課から1名ないし2名がそれぞれの関係する部会に入る。例えば保健・医療・福祉部会は、福祉関係職員の課長補佐以下級の職員で構成されている。あとは生涯学習関係につきましては教育委員会の職員が関係する部門。産業交流につきましては、商工観光課や農業委員会、あとは農林課、ひと・しごと推進課の部門が入っておりまして、生活基盤は建設課、行政経営推進課、あとは危機管理室等の職員、環境エネルギー部会につきましては総務課、税務課、町民課、地球温暖化対策室、会計課の部門の職員が入っております。

また、職員のワーキンググループの傍聴については可とさせていただきますし、後ほどご説明させていただく予定ですが審議会は4~5回あり、3回目の審議会の前に職員の方も課題の話し合いをするので、3回目以降の審議会の前に審議会委員の皆様と話し合いの時間のセッティングをしたいというふうに考えておりますので、そちらの日程が決まり次第事務局の方から連絡をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。国際航業さんのほうから何か補足等あればよろしいでしょうか。

国際航業 皆様こんにちは、第3次計画の策定支援をさせていただいております、国際航業株式会社と申します。本日は3名で出席させていただいております。先ほどご説明がありましたように、この業務は入札で受注しておりまして、計画の策定全般に関

わるお手伝いをさせていただいております。本日説明するような各課のヒアリングや、企画財政課の皆様と素案の作成をするなど、また我々いろいろな計画を立てておりますので、それによって得た知見を整理してまとめ方のご提案をさせていただくという役割となっております。よろしく願いいたします。

会長 はい、今二つの質問をいただいて事務局の方から回答いただきましたけど、前回の会議でもお話がありました例えば前の総合計画のときにはワークショップをしたり、いろいろな話し合いの場があったのに今回はそれが4、5回の会議で本当に大丈夫なのかという心配があったかと思います。それでまずは庁内の方で5つのワーキングが立ち上がり、一つが福祉・保健医療、二つ目が生涯学習、三つ目が産業交流、四つ目が生活基盤、五つ目が環境エネルギーの五つのカテゴリーで関係各課が集まりいろいろ議論をされておりますが、今年は住民ワークショップを何回も開催するのはちょっと難しそうなので、ワーキングが集まっている時に少なくとも審議会委員の皆様方にオープンにして例えば五つのワーキングが同時開催すると一つのワーキングにしか行けないので、ちょっと時間をずらしたりしながら複数のワーキングに顔を出せるといったことを2回目と3回目の審議会の中に設けましょうという話を進めていただいています。その他にご質問ありますでしょうか。はい、お願いします。

委員 1回目の審議会は欠席しましたけれども、今日お話しを受けた内容で私から2点ほどお聞きします。まず、一部要望にもなると思いますが、アンケート調査というのは簡単にして難しい部分があるんですね。回答率が3割というのは我々からすると非常に低いなと思います。ただ町民の認知度も低いんですね。理解度も低い。ですからこれ以上求めても無理な部分があるので、せっかく取ったアンケートを何かの機会に周知するような方法を考えていただきたいと思います。これ以上やっても高い効果は出ないと思いますのでその辺はちょっと工夫していただきたい。

2点目はそれぞれの五つの部会で議論されていますが、一般的に考えられるのは、現在継続中の補助事業を今後10年間継続するのか。いつ終わるのか。そこからどのような政策に切り替えていくのか。そういった部分も大きいのではないかと。そういう今までの課題あるいは議会なんかで出た部分がもれなく反映されるようなワーキングのまとめをして欲しいと思います。そしてさらに職員自身が持っているビジョンがあれば、それを活かせるようなワーキングにしてもらえればいいのか。審議会は4回、5回しかありませんので、そういうワーキングの積み上げによったものを我々が判断していけばいいと思いますから、その辺をご検討してください。

会長 はい、今二つのご意見と質問をいただきました。一つはアンケート結果を広く町民に周知する方法があるのではないということ。二つ目は部会の議論のあり方についてですが、その辺は事務局側いかがでしょうか。

事務局 委員ご質問ありがとうございます。まずアンケートにつきましては、委員が町の統計協議会の会長ということで、ご助言として非常に適格なご意見ありがとうございます。前回の総合計画のアンケート調査結果はホームページに載せているので、そのような形で今回もホームページに掲載、また広報誌の方にも概要的なものを載せたいと考えています。多分まとめると一つの冊子程になると思います。また、ワーキングの進め方についてはそのように意見があったということを伝えまして、私もこのような思いで今後進めていきたいと考えています。

会長 はい、お願いします。

委員 アンケートについてお伺いしたいんですけど、私はアンケートは非常に細かく数字に取れていて、町民の状況が良く見えてきているのかなと感じました。ちょっと1点ですけど17-22番台の学ぶ幸せの質問のところ、町民の意識が高いというところで学校教育の充実というのがありますが、たぶん小学校、中学校における義務教育に求めることと、高校受験や大学受験に関わるころの教育の充実とあり、これ多分かなりニーズが違うんです。分けて取られてないのでそういう数字がなかなか見えてこないのかなと。効果があった、効果がなかったとわかるころでも、そういうのは反映しているのかはちょっとわからないですけど。一方で町外に移りたい理由として進学というのがあるって、受験を控えた場合等の教育環境の違いだとか、そういうところの要望がかなりあると思うんですけど、その辺どうなんでしょうか。

会長 例えばアンケートで自由意見とかそういったところに書いていたりしていましたか。

事務局 教育の部分につきましては、確かに委員が仰るように、加美町の学校教育の施策の中は、小中学校の要は義務教育の他に幼児教育、いわゆるこども園の幼児教育の部門とかですね、幼児教育があったりとか、あとは食育教育が入ったりとかそういったものすごい大きなものを一つにまとめて、学校教育の充実ということで表現して示しております。確かにその中身が多い中でどういう傾向なのかというのは、今回このような形になっているため、それ以上の部分をなかなか数字だけ見てもなかなか答えが難しいです。その相反することになっているのは事実なんですけども。あと今年の1月にこども家庭課の方でとったアンケートとか、子ども本人さんのアンケート調査の結果とかもまとまっているのでその辺とかもクロス集計するときに深掘りしていきたいなと考えています。また自由意見のところにつきましてはです

ね。ちょっとここもだいぶ量が多くて説明するとかなり長くなってしまいますので、ちょっと抜粋、整理した上でご提示したいと思います。今日につきましては大変申し訳ありませんが、ご提示できるような状況になっていないです。

あと10代の進学や、いずれ関わってくる転勤等をするかについては、今後わからないというような傾向が見てとれるのかなと。当然ずっとそこにいる方は、当然その町に住むような、結構はっきりした数字の結果なのかなというふうには私が見て取れるかなと思っております。

ただ特に中学校から高校に行く時は、それぞれ自分の行きたい学校に行くので、それこそ中学生の大半は隣の大崎市の高校に行くような状況になっています。加美町にも高校はありますが、高校進学者が1学年で今大体60人から70人いかないくらいと聞いております。当然その後大学へ進学になると、当然仙台、または関東の進学もあり得るので、その辺はわからないのかなという報告も返ってきていたりもします。私も子どもが3人いますがまだ学生で、やっぱりこういう感じなんだなというふうに思って分析作業の方進めてきました。すみませんちょっと答えになってたかわかりませんがよろしいでしょうか。

会長

今回ですね前回の総合計画では年代別のデータを示してなくて、ざっくりと全体の数字しか出していなかったんですけど、今回はまず年代別に集計して、年代で違うのが何かないかっていうのを見てみましょうっていうことで、国際航業さんにもですね、ご提案いただいているいろいろ分析をしております。例えば10代、20代で顕著に数字が表れている項目がいくつかありますよね。あと60代、70代で表せるものがあるんですね、その辺のところの境である世代によって興味のあるなしが出ている項目があると思います。例えば、世代別のページの3ページで「11満足していない理由を教えてください」のところ明らかに10代、20代は商業施設や店舗が少なく働く場所がないっていったところが多い。あと交通問題など。30代以上になってくると人口減少や高齢化、過疎化、まちの将来についてといったところが高くなっているということですか、あるいは次のページの14番「これからも住み続けたいと思いますか」について、これも明らかに10代、20代はわからない、どちらとも言えない等、当然そうかと思いますが。これで先ほど委員からご指摘あった通り、高校進学や大学進学、就職等を機に一旦加美町を出るケースというのが多い。ちょっとですね膨大なデータなので、いろいろ見てみますとわかってくると思いますが。ちなみにですね、中新田高校を卒業された3名の委員がいらっしゃいますけど、このアンケートを見て何か感じたこととか思ったこととかを卒業したばかりの皆さんにですが、何かありますか。

委員

はい。さきほどの質問で委員もおっしゃっていたんですけど、教育関係のアンケート結果の際にすごい意見が全部バラバラで、なぜなのかなと思ったんですけど、中新田高校は最近タブレットが一人一人に配られたり、授業でもプロジェクターと

かも導入されて、高校ではすごい授業が充実した形に発展しているんですけど、アンケートを見ると満足してないという意見が多くあったので、小学校とか幼稚園とかで教育環境が充実していないのかなと思いました。以上です。

平岡会長 ありがとうございます。他2人は何かありますか。今ですね、幼児教育の話が出たので、できれば子育て世帯として何かありますでしょうか。委員で今回のアンケートあるいは今お話しがあった教育面とかでご意見ありますでしょうか。

委員 教育の授業関係を伝えればいいですか。

会長 そうですね、今学校教育の面で見れば、満足度が高かったり、不足しているといった評価が出たりとして、そのような二分されているところが中身を細かくみれば違うのではないかということについてご意見を伺えればと思います。

委員 私の子どもが今、中学生1人、高校生2人いるんですけど、中学校も小学校の頃から考えますと、1人1台ずつタブレットを渡されたり、中学校の授業参観をみると先生も含めてタブレット教育なんですね。ですのでそういう環境的には少しずつ整ってきているのかなって思う。高校も同様にタブレット等の導入がされているなど、教育面で少しずつ変わってきていると思います。幼稚園関係についてはちょっと私わからないので、他の方からお伝えていただけたらと思います。

会長 わかりました。ありがとうございます。ではどうぞ。

委員 今、年長の子供と2歳児の子供がいます。2年前に岩沼市から引っ越してきて、現在は小野田に住んでいるんですけども、引っ越しの際に何件か幼稚園を見学して、今は中新田の幼稚園を選んでいるんですが、個人的にはその園はいろんな体操教室をやってくれたり英語教室もやってくれているなど、非常に先生たちも熱心で、以前いた岩沼市の園よりとても充実していて満足しています。ただこっちにいて感じたのは、岩沼市のときに結構市内の幼稚園とか保育園をみんな見学などして、自由に選んでいるというのが普通だと思っていたんですが、加美町に引っ越してみますと、小野田にいる人は小野田にある園を選んでいる感じで。遠いっていうのもあるんですけど、まちによって違うんだなっていうのは感じたりしました。すいません答えになっているかわかんないんですけども。

会長 学校教育それぞれみると幼児教育含めると充実しているけど、ちょっと選択肢が狭いかもしれないということですね。

委員 そうですね。いろんな園を見ないで、各地域にある園に通うという印象がありま

した。

会長 はい、ありがとうございます。今ですれ議事としては総合審議会後の経緯及び町民アンケートの結果のところについて、ご意見ご質問を承っているところですが、他にいかがでしょうか。個人的には政策の評価のところではわからないという数字が圧倒的に多かったもので、町がやっていることがうまく伝わっていないのか、町の取組みをどういうふうに行われていることかですね、皆さん見ていらっしゃるのかというところが少し気になりました。では、他の議事もございますので一旦議論を終了し、次に移らせていただきたいと思います。もしお気づきの点等あれば、また後ほどご発言をお願いいたします。

議事3 加美町の基本的な課題の整理（素案）について資料3に基づき委託業者の国際航業株式会社より説明。

会長 はい、ありがとうございます。資料3に基づいてご説明をいただきました。前回の第2次総合計画の399施策についてヒアリングをされ、その集計がこのカラー刷りの集計になっているということです。基本的には6節あり、一番右端のところを見ていただきますと、第2次総合計画で出ていたような施策が事業継続というご意見出ているというところですかね。先ほど委員からもご意見ありましたがこれもこれは事業継続ということはどう考えていくかということと、何か切り替えてるとか、変えていくとかってというのが必要かどうかというのはワーキングの中でもよく話して欲しいということです。今ご説明した内容についてご意見、ご質問ありますか。はいどうぞ。

委員 今、国際航業さんからお話ありましたけども、このマイクが悪いのか聞こえないんですね。声が分散するのかわからないんですけど。聞こえますか。

国際航業 はい、聞こえます。

委員 では、このヒアリングのまとめた資料について一点だけお聞きしたいんですけど、この資料の実施状況で未着手とかがあるんですが、この未着手であっても、事業の効果Cの部分になると高い部分も見受けられるんですよね。その辺もう1回ちょっとお聞かせください。未着手で効果が高いなんていうことは普通ありませんよね。

国際航業 ご質問ありがとうございます。聞こえておりますでしょうか。

委員 はい、聞こえています。

国際航業 ありがとうございます。それではお手元に第二次総合計画の冊子はございますでしょうか。

会長 青いファイルに挟まれているものですね。

国際航業 今お示ししている資料3の集計結果は少しまとめています。今ご質問いただいた内容は51ページになるんですけど。

委員 施策の体系の部分ですか。

国際航業 はい、施策の体系の下になります。施策の体系では2の環境に配慮したまちづくりというものがございしますが、その下に(1)～(3)までもう少し区分があります。そしてこれがもっと区分されており、例えば(1)の環境保全活動については、環境基本計画、行動計画の運用ですとか、環境ISOの認証の検討をされています。399施策と言ったのはこの(1)にぶら下がっている黒ぼちの部分指着してまして、これを全て数えると399施策あるということでしたので、少しまとめてお示ししてしまったために誤解を招いてしまったかもしれませんが、一部については実施している、ただそれ以外のものについては事業を実施したので効果を評価したというような流れになっています。

委員 細分化してヒアリングしたということですか。

国際航業 はい、細分化したヒアリングしたものを今回まとめてご報告してしまったということでこのような形になってしまいました。

会長 この色付きのA3の表はちょっと細かい中身を見ていかないとわからない部分も結構ありましてですね、大づかみの部分しかわからないと思います。他にご意見、ご質問いかがでしょうか。

副会長 先ほどの着手の理由ということで、庁内体制の整備という項目がちょっと気になったのですが、マンパワーによる理由なのか、その他の理由なのかという点と、事業の効果のところ、効果が低いという評価がほとんどないですが、先ほどの住民アンケート等の結果で、わからないっていう回答の割合が多いということも仰っていましたので、その乖離はどのように捉えているのでしょうか。

会長 いかがでしょうか。未着手としての理由と、事業評価がアンケートの結果と庁内の職員の皆さんの評価との乖離があるというご質問ですが。

事務局

ご質問ありがとうございます。まず未着手の理由は庁内での体制の未整備というのもあり、確かに委員が仰ったようなマンパワー不足が生じているのが理由の一つとなっています。あとは特に1節の項目の自然環境やエネルギー関係なんですけど、町の中でもですね、それぞれの課での施策を担っていくような形でして、3つ4つの課が関わることもありますので、進み具合がうまくいかないだろうなという理由も一つあります。職員の人数が削減されているという状況もありますので、そういった部分が理由なのかなというふうに考えています。またヒアリング調査の詳細な分析については、先ほど申し上げましたがアンケート調査の詳細の結果とはまた別でお出ししようかなと思っていますので、その中でちょっと改善していければと思います。私アンケート調査の集計メインで携わっていたんですけど、60代、70代の方の回答につきまして、施策の評価はしているんですけども、その項目の施策の評価については、例えば良い方にだけマルをつけて、悪いほうにマルを付けない。逆に悪い方にだけマルを付けて、良い方にマルを付けないという回答が結構いらしたので、その辺の乖離等についてもですね、本日明確なお答えができないかもしれませんが、満足度調査とかその詳細結果の中で、もうちょっと深掘りしていければいいのかなと考えております。

会長

職員の方々のその事業の達成度評価と住民の方々がどう見られてるかってことです。実はヒアリングの内容をもっと細かく聞いておまして、それで第2次総合計画のときにやっていることをそのまま継続した方が良いという意見があったり、切り替えてこういうふうな考えでやった方がいいと出てるようでして、ちょっと今この場では一つずつ細かく見る時間がないため、そういう大づかみのところについて議論していただければと思いますので、ただ一応こういうヒアリングをして職員の皆様方からの細かい意見とか、実際やっている事業について進めているということについて、ご認識いただければと思います。また資料見ていただいてご議論ございましたらですね、またご質問等を適宜いただければと思います。

議事3 加美町の基本的な課題の整理（素案）について資料4-1、4-2に基づき国際航業株式会社より説明。

会長

はい、ありがとうございます。今資料4-1、4-2についてご説明いただきましたけれども、すいません実はこの審議会2時間ぐらいで終わらせたいなと思っているところだったので、できれば15分ぐらい延ばさせていただきたいんですけどよろしいですか。ちょっとこのところが本当は一番、ご意見聞かなきゃいけないところですねちょっと説明の時間が長くなってしましまして大変申し訳ございません。

ここはですね本当に基本構想の検討のベースということで資料4-1の三角形の図がありますが、この一番てっぺんの基本構想と基本計画がここに載ってまして、そ

の基本構想のところ作るときの基本的な課題として出ているのが前回のこの第2次総合計画の項目に従って今整理をされているというところです。本日お聞きしたいのはですね、この整理で何か不足しているところとか、不足しているような視点とかキーワードがありませんかという部分とか、ここを出ているキーワードで特に重要だということとか、あるいはこの項目とこの項目は組み合わせるともっと強力にやるべきだとか、本日一番最初にお話しましたフォアキャスティング、バックキャスティングっていうやり方で、将来あるべき姿はこういったところにあるのではないかっていうような話でも構いませんので、ご意見があればお伺いしたいというところでございます。はい、お願いします。

委員

本日配布されている資料について一読させていただきました。国際航業さんの方でまとめた内容非常にいいなと感じたわけなんですけど、ちょっとお聞きしたい件は、今後のワーキンググループでも考えてほしいなっていう部分あるんですけど。一番の問題は、財源をどうするかっていうことが全くないんです。加美町は2030年に非労働人口と労働人口の比が1:1になります。45年後には加美町の人口は8000人になります。今回の総合計画は、10年後を見据えたプランですから45年後のことは考えなくてもいいと思いますけども、ただ人口減少するので地方交付税がどんどん落ちてくるっていうことはもう目に見えているんですね。ですからやっぱり財源をどうするかっていうのは、庁内の人たちにそれぞれの検討してほしいなと思います。町長と12月14日私と一対一で話したときも、最終的にはやっぱり財源が重要になる。維持管理は変わりなく続いていきます。

2点目は、若者が定住するようなまちづくりを目指していかなければならないと考えています。これは雇用の創出に関連するかと思います。また併せて空き家対策なんかも一緒に考えながら、オンラインでも仕事ができますから、そういうものを組み合わせながら考えていければと思います。

それから3点目は地域運営組織が立ち上がったとありますけども、いまだに運営されていけませんので、何かの原因があるんだろうと思いますからその辺は聞いてほしいなと思います。そして新庁舎についてですが、3日ぐらい前の山形県の酒田市での大雨は、日雨量80ミリ以上、1時間に20ミリ以上の災害の雨量がありました。400とか500ミリですよ。そうした場合に、田川と鳴瀬川の合流点の中新田の堤防が決壊したら、中新田地域なくなりますよ、大きな雨量が降った場合。ですから洪水対策なんかも庁内のワーキングの中でも検討して提案をお願いしたいなと思います。

会長

はい、ありがとうございました。今の四つご意見をいただきましたが、確かに財源をどうするかというところの視点も大事ということでご指摘いただきました。他にいかがでしょうか。はいどうぞ。

委員

この基本構想の案として網羅されているとは思いますが、一つ気になるのは、今の加美町の現状というもので町民の持っている今の意識からいうと乖離しないだろうかという気がします。ある意味では下世話な言い方をしますが今テレビとか新聞、ネットなんかでも騒がれている問題がほとんど見えてこない。いやこれは10年を見通したものだから今起きている問題は全く部外の問題だからいいと言えばそれまでですが、今の現状から10年先を見通した部分の全体の構成ができていないのではないかとということが気になりました。気になったところを全部挙げだすときりがありませんので、いくつかの点だけ挙げさせていただくと、加美町の人口で国立社会保障人口問題研究所が出している、2050年なので20年以上先の話ではあるんですが、若年女性人口、つまり20歳から39歳までの女性の方々の統計上と言えればそれまでですが651人という、びっくりするような数字が出ています。そんなことはないというふうに否定するのは簡単ですが、この先どうなるのかという問題のときに、今本当に加美町が問われている問題というのは人口減少もですが、過疎になるとどうなるのかという問題がこの構想の中からはなかなか見えてこないと思います。順調に進んでいるような印象は受けるんですけど、果たしてそうなんだろうか。先ほど委員がおっしゃったように財源という大きい問題を抱えながら、順調に進むようなことが書かれています。町の財政を含めてこの先を見たら順調に進むというプランを出すのは当たり前じゃないかというふうにおっしゃられる方も多いかもしれませんが、どうもその辺は危機感を持ったまとめ方をした方が良くとお思います。

それと、大衡村に台湾からの半導体メーカーが来るということなんですけど、今加美町にはどうなるという事情は全く白紙状態ですよ。つまり5年後、半導体工場が稼働したときに、加美町はどうなのかという設定がなかなか見えてこない。5年先だからこれから考えればいいと言えればそれまでなんですけど、富谷市とか大和町、それから隣の大崎市含めて新しい課を設けたりいろんな取組みをしています。それから加美町も今年の4月に組織を改編して企業誘致を図ろうということなんですけど、悪い言い方をして恐縮なんですけど大衡村で新しく起きることのお裾分けをもらえば、加美町も発展するよねという考えになってないだろうか。つまり、加美町として独自の何かを出すっていう考えも一つは必要ではないかという気がしています。それで、この産業分類の中に必ず出てくる言葉が商工業という言い方があるんですけど、商業と工業は基本的に別物ですが、今大衡村での半導体メーカー云々のときに、商業という部分では加美町にとってむしろ大変な影響を受けてしまいますが、工業という部分の発展ということになりますと、土地利用計画がちゃんと議論されていない。つまり、新しい工場や新しい会社を持ってくるということになったときに、町のどこに持ってくるのかという基本的な部分が見えてこない。これは前から言われていることでもあるんですけど、この基本構想の中に、そういった新しい方向も含めて、加美町がいろいろ受け止められますよという部分が提示されないと、本当にペーパープランになってしまったりしないのかなというところが一番気にな

ります。大衡村の近くの町だということで何かいいことが起きるようなことを町民の中にも仰る方がいるようですが、そう甘くはないのではという気がいたします。産業規模から言えば、今熊本県で起きている様々な問題、様々なテーマとは基本的に違うんだという認識は持ってないと、半導体のおすそわけをもらって何かやろうというような発想で加美町の産業振興、そしてその先にある雇用促進がきっとできるはずだというふうに考えてしまうあたりが、ちょっと大きなリスクになるのではと思います。基本構想ですからこれからもっと練っていけばいろんなプランが出るのかもしれませんが、大事なことはあまり上滑りの部分に悪ノリしたような形で乗っていくのではなくて、もうちょっと身の丈に合った地元着地型のような検討をしないと、若い人たちにも何か嘘をついてしまっている。良い町だからどんどん来いよとか言っても、今後どうなるのかという先が見えてきません。

だから、少なくともちゃんとセーフティネットになるような地域基盤というのは大事だと思います。それと何度も言いますが、先ほど委員が仰ったように、産業基盤であれなんであれやっていく上では、財政の部分というのは大事になってきますので、ここの部分をどのようにしていくのかが大事になってくると思います。それで、昨年、石山町長が地域懇談会でもおっしゃってるはずなんですけど、儲けるまち、稼げるまちにしましょうよってことを言っているんですね。でも稼げるという部分がなかなか見えてこない基本構想プランになっていないだろうかと。稼げるってというのは悪い商売をしましょうということではなく、地元の人たちが安定して暮らしていけるための保障するための基本条件を整備することだと思います。ですので稼げるというのは、とても大事なのかなという気がします。そのようなことが基本構想の中にも言葉としてもあった方がもしかすると少しはインパクトが出てくるのではないかと思います。

会長 はい、ご意見ありがとうございました。今若年女性の人口の話や稼ぐ話等、大衡村もですね、新たな産業についてのご意見をいただきました。他にいかがでしょうか。はいお願いいたします。

委員 資料に目を通して感じたことを述べさせていただきたいのですが、アンケート調査結果の4ページの町民満足度調査の結果で、今後の総合計画に反映する際に、この11番の満足していない理由を教えてくださいという部分で出ている項目を改善していくことが一番大事なのかなと感じ、具体的にこの資料の4-1、4-2にどのような形で反映されてくるのかなと思ったのですが、ちょっとあまりにもアバウトすぎるのかなと感じました。例えば、住民満足度調査の一番回答が大きかった部分で、先ほどもお話にありました人口減少、少子高齢化としてまちの過疎化が進んでいく、まちの将来に不安を感じるということがあります。現実的に加美町もますます高齢化社会が進む中で、例えばの話ですが、私へき地に住んでいまして、住んでいる地域に商店がないので買い物の移動手段として地域活性化バスというのが運行してい

ますが、買い物して帰ってくる時間帯と運行時間がなかなか合わないという部分もあり、ここにずっと住んでいられるのかなと思っています。正直なところ若い息子さん娘さん夫婦が地元を離れ、隣の大崎市や加美町の中心部に出てきているような状況なので、将来的に住んでいただくためにはますます進む高齢化社会のことも含めて、計画をつくっていく必要があると感じました。私が小さい時代は豆腐屋さんだったり魚屋さんが来ていただいて、農家の人たちが買い物に行かなくても家に残っている人が買い物をすることができていたり、医療の部分であれば、訪問診療をするお医者さんを医師会と連携しながら確保していくこと等も含めて、安心して住めるまちづくりの施策を考えていくことも、総合計画の中で検討していくことが大事ではないかと感じました。以上です。

会長 ありがとうございます。今回のアンケート結果で一番出ている人口減少や高齢化の問題について確かに大事な視点ですね。もう少し時間ありますが、いかがでしょうか。はいどうぞ。

委員 お願いしたいことなのですが、本日の内容が私は一番議論される部分だなと思っていますのですが、あまり喋ると時間がないと思うので、この意見について後日事務局の方に提出をすることは可能でしょうか。もう時間がないので全部言うのは無理ですので、そこをお願いしたいです。

事前に資料をいただいて過不足がないかということで、第二次総合計画のものと、今回の素案を見比べたり、アンケート等を確認しましたが、やはり先ほどおっしゃられましたけども加美町の現況について、これどなたが書かれたのかわかりませんが省略しすぎているのではないかと思います。それから町長インタビューというのはおそらく町長の現在の方向性というものを示していると思うのですが、このインタビューもだいぶ省略しているような印象がありました。これは切り取り方でだいぶ違ってくると思いました。

また、施策の実施状況について非常に丁寧なヒアリングをしていただいてありがとうございます。せっかくこれだけの時間を要してヒアリングをしていただいたのですが、一覧を見ますと例えば事業中であるけれども、効果があまり得られてない、効果が低いというふうになっている理由ですとか、あと未着手の理由で庁内の体制が未整備という部分など、逆に言えば理由を聞かなければこれからどうしていいかわからないということがあるので、その辺りも実は教えていただきたかったです時間がなくてちょっと聞けないという状況でした。

それから意見について右・左と皆さんいろいろな意見があるので、どちらが正しいどちらが間違っているということではないと思うのですが、基本理念のところを何を優先するのか。右側に行くのか左側に行くのかというときに何を優先するのかという指針になるものは、この基本構想だと思うのですが、基本理念ということはずっと変わらないものなのか。それともこれからそれが協議されるものなのか。ち

よっと手順がよくわからなかったです。本日は以前の課題のところの話ですので、これから本体に入っていくと思いますが、課題の捉え方も、やっぱり基本理念をどこに置くかによって課題というのは違ってくると思います。課題重視でこの計画が進んでいくのか。そして課題というのはいまうまくいってないことについてだと思えますが、うまく進んでいる施策も続けていきたいと思いますという部分も非常に大切だと思っていますので、課題というふうに言われると、ちょっと抜け落ちてしまうのではないかと。やっぱりバランスよく考えたいですし、課題のところにもうまに進んでいる施策について継続してほしいということも盛り込んだ方がいいのか、ちょっと考え方がよくわからなかったです。すいませんちょっとたくさん述べましたが判断する材料が非常に少ないということと、現況についてちょっと薄いような気がしました。以上です。

会長

ありがとうございます。今ご提案いただきました後日、委員の皆様からの意見を書面でいただくということですが、やっていただいた方がいいですね。きちんとご意見頂戴する時間が取れませんでしたので、それは事務局の方をお願いをして、どういう手続きでご意見を頂戴するかということについてご連絡を差し上げるようにしたいと思います。

また前回のまちづくりの基本理念である「共生・協働・自治」があり、それぞれの解説がついていますが、事務局の方とお話をしていたのはもう少しです。いろいろな議論が出てきたところで、キーワードですとか考え方をまとめていき、案をお出しするという手順になるのかなと考えていました。今お話ありましたように、課題だけではなく、うまくいっている部分をどのように継続的に盛り込むのかということや、あるいは課題としても出ていない現行の事業としても出ていないような新しい取り組みが必要なのか、新しいビジョンが必要なのかということもあるかと思えます。最初からこれありきということではなくて、現時点では基本的な課題、庁内の議論のところの情報を出して、意見をいただいて、本日皆様からいただいた意見とかをマッシュアップしていきながら最終的には理念の部分を考えていく。ですので、多分これのたたき台が出てくればまたそれに向けてどういうことが必要かという部分も出てくるのではないかと思います。確かに最終的には基本理念のところがないと、いろいろな事業において、どちらの方向を向いていいのかわからないとか、皆様からもお話のありました優先順位とか取捨選択とか、限られた財源とか、時間とか、リソースとか、人員の中でやっていかなければならないということですので、取捨選択、誰がやるのかということになってくると思います。やはりこの部分が上位の判断の計画になってくるので非常に大事なところだと思います。すいません皆様からご意見をいただける時間が取れなくて大変恐縮なんですけれども。

それでは全体を通して今この場でお話した方が良くないかのようなことがあればいただきたいと思いますがいかがですか。前提として、書面でご意見をいただく。次回の庁内ワーキングの機会を設けた際はオープンにして、参加できるようにしま

す。次の審議会はいつぐらいになりますでしょうか。

事務局 はい。3 回目の審議会は秋頃になると思いますが、その前に会長より申し上げましたように、庁内のワーキンググループを 9 月下旬又は 10 月上旬の辺りで設けて、皆様にご案内をするような流れで考えておりますので、ワーキンググループの日程等が確定次第、早めにご案内したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

会長 委員の皆様が出席しやすい時間帯への配慮とか、日にち配慮みたいところもお願いできればと思います。

事務局 部会が一斉開催してしまうと、1 人 1 部会になってしまうので、複数の部会に出席できるような時間の割り振りとかを調整したいと思っておりますので、お時間いただきたいと思っております。

会長 それではですね、時間が足りませんでした、資料 4-1、4-2 に基づき説明しました加美町の基本的な課題の整理・素案について、審議・意見交換を終わりとしたいと思っております。いただいた意見についてはすぐに職員の皆様のワーキンググループで情報を共有し、そこでも議論を進めていただくということと、次回のワーキンググループはオープンにし、事前に委員の皆様にご案内をします。また、その前に書面でも意見をいただき、お伝えするというやり取りをちょっとスピードを上げていかなきゃいけないと思われましてぜひ皆様、ご協力のほどよろしくお願いします。

 それでは、その他というところですが、何かございますでしょうか。はいお願いします。

委員 私午前中から出てきましたが、審議会の開催時間が午後 2 時というのはちょっと半端すぎると思います。午後だったら 1 時にやればもっとじっくりできると思います。午前からなら 9 時からやるとか。そういう工夫をしてほしいと思います。午後 2 時は中途半端です。

委員 日程ですが、できたら 1 か月以上前にお知らせいただけましたらお願いします。仕事の関係とかで皆さん調整が必要だと思いますので。早めにお知らせいただけたらありがたいです。

会長 わかりました。では開催日程についてはちょっと配慮をお願いしたいと思います。

委員 日程は皆さんそれぞれ立場や状況があって設定することになると思いますが、最低限常識としてですね、月末 30 日、五十日というのは一般的な常識としてこれどうなのかなど。全然関係ない方々もいらっしゃると思います。しかしながら世の中そ

れで回っている方々も大部分いるということも一応認識の中に抑えていただきたい。それがいわゆる協働の原点につながるということではないでしょうか。これは常識だと思いますがいかがでしょうか。

会長 確かにちょっと日程調整の配慮について、早く決めてお知らせしなきゃいけないということと、それぞれのお仕事の都合についての配慮が必要かと思います。その辺はちょっと事務局の皆様と話をして今後改善したいというふうに思います。申し訳ございません。

それでは、会議としては本日終わりとしたいと思います。

最後に副会長の方から閉会のご挨拶をお願いいたします。

副会長 今日はお忙しい中、長時間にわたりましてご審議いただきまして誠にありがとうございました。今後 10 年間のまちづくりの総合計画を検討するには、大変厳しいタイムスケジュールではございますが、皆様からいただきましたご意見、また町民アンケート調査等を精査して、できるだけ答申内容をまとめていきたいと考えておりますので、次回もどうぞ皆様ご協力よろしくお願ひしたいと思います。なお暑い日が続いております。皆様、どうぞ体調管理には十分注意していただき、よろしくお願ひしたいと思います。今日は大変ご苦労さまでした。そしてお疲れ様でした。

— 閉 会 —